

西友店舗内にレタス栽培の植物工場が登場、鮮度と安心・安全をお届け

植物工場システム「PUTFARM」を採用
鮮度抜群、安全・安心な野菜を安定的にお届け
店舗余剰スペースの有効活用策として有望視

プランツラボラトリー株式会社（東京都港区、代表取締役 湯川敦之、以下プランツラボラトリー）は、大手スーパーマーケットチェーンである合同会社西友（東京都北区、社長兼最高経営責任者・リオネル・デスクリー、以下西友）と共同で、西友上福岡店（埼玉県ふじみ野市）3階に店内植物工場を開設、水耕栽培レタスを2月26日(水)から販売します。



工場内イメージ

LEAFRU × SEIYU

商品パッケージ ロゴ

*LEAFRUは、プランツラボラトリーが開発する野菜ブランドになります。

今回導入される「店内植物工場」は、西友上福岡店3階の約45坪の区画に、プランツラボラトリーの水耕栽培装置を設置し運用を開始いたします。

店内植物工場内の専任のスタッフにより毎日収穫、包装されたレタスは、すぐに地下1階の西友の野菜売場にて1株137円で販売されます。併せて近隣の西友店舗でも販売予定です。

昨今、安心安全、産地からの距離が近いなどの観点から、地場野菜/契約野菜など生産者の顔が見える野菜へのニーズは高まっております。このようなお客様のニーズに加え、プランツラボラトリーが開発した植物工場システム（PUTFARM）にて栽培された野菜は、天候に左右されず、安定的な生産ができ、農薬を使わないという、更なるメリットを付加することが可能です。

また、植物工場で作られた野菜は、天候に左右されない安定的な商品供給を可能とし、店産店消かつ無農薬栽培を実現しており、サステナビリティにつながる取り組みと考えております。

一方、西友においても店舗の余剰スペースの有効活用に向け、物販や飲食、サービス業以外の新たな業態として植物工場を他の店舗に導入できる可能性があるとの考えがあり、今回、上福岡店に店内植物工場の導入を決定しました。

プランツラボラトリーが東京大学との共同研究により開発した植物工場システム PUTFARM は、敷地の広さや屋内・屋外を問わず様々な場所に設置できることに加え、従来の植物工場と比べ導入コストは1/2～1/3、ランニングコストについても独自の遮熱方式により大幅な削減を実現しており、すでに多くの稼働・栽培実績を上げています。

また、工場内の空間環境の最適化や、データに基づく栽培ノウハウのもと、お客様のニーズに沿った様々な品種を、安心安全かつ安定的に供給することを実現しています。

【代表商品名】 グリーンリーフ 1株 137円（税抜）

【店内植物工場産のグリーンリーフの特徴】

- 店産店消 店舗内の植物工場から収穫したばかりで鮮度の高い商品が売場に並びます。野菜売場に直接持ち込むため、ゼロマイレージを実現します。
- 味わい 柔らかく、優しい味わい。洗わず、そのまま召し上がれます。
- 安定供給 天候に影響されず、1年を通じて一定の品質での安定供給が可能です。
- 安心・安全 水耕栽培による無農薬栽培が可能です。

【西友について】

1963年に設立され、日本全国にスーパーマーケットを展開しています。2002年にウォルマート・ストアーズ社（現：ウォルマート社）と業務提携を締結、2008年に完全子会社化。世界最大の小売業であるウォルマートの一員として、企業理念である「Saving people money so they can live better.（お客さまに価値あるお買物の機会を提供し、より豊かな生活の実現に寄与すること）」を目指しています。

この件に関するお問い合わせ先

プランツラボラトリー株式会社
事業開発室 03-6432-9133

合同会社西友
企業コミュニケーション部 広報室 03-3598-7760